

花の日礼拝

5月27日(金)に「花の日礼拝」を捧げました。神の恵みのあらわれである美しい花を通して、神を賛美し、神に感謝することを子どもたちに教えるために教会に花を飾ったことから始まったキリスト教の伝統行事の「花の日」ですが、活水では特に、神様に与えられた恵みを分かち合うことを通して、生徒たちが活水の基礎であるキリスト教の精神を学び、実践することを目的としています。



三河悠希子宗教主任



全校生徒ひとりひとりが花、または、花を買うための献金(献金総額50,113円)を持ち寄り、感謝の礼拝を捧げ、「分かち合うために」というテーマで宗教主任三河悠希子先生からメッセージをいただきました。持ち寄ったお花は、中1と高3の生徒がきれいな花束にして、放課後に訪問先にお届けしました。今年は、浦上駅・長崎北郵便局・浦上警察署をはじめ、近くの保育園、学校に来てくださっているパン屋さん、いつもお世話になっている病院などにお届けしました。

28日(土)には、鶴舞苑を訪問し、YWCAは手作りのしおりとカード、ハンドベル部はハンドベル演奏、トゥインクルスターズ樟はコーラスと、それぞれの形で神様の恵みを表し、お花と一緒にお届けしました。とても喜んでくださいました。

